

項目	単位	測定値等
発生汚泥量*	kg / 日	
廃棄物発生量	kg / 日	
悪臭・騒音の発生可能性		
電力等消費量	kWh / 日	
()	kg / 日	
排水処理薬品使用量*()	kg / 日	
括弧内は薬品名 ()	kg / 日	
()	kg / 日	
その他消耗品使用量 ()	kg / 日	
括弧内は消耗品名 ()	kg / 日	
測定責任者*	印	
測定年月日*	平成 年 月 日	

2. 製品データ（技術仕様については添付書類にて提出のこと）

項目	記入欄
実証対象機器名*	
型番	
製造企業名*	
連絡先*	TEL () -
	Web アドレス http://
	E-mail @
	FAX () -
サイズ*	W (mm)
	D (mm)
	H (mm)
重量 (kg) *	
前処理、後処理の必要性*	なし ・ あり { 具体的に }

項目	記入欄			
付帯設備*	なし ・ あり (具体的に)			
実証対象機器寿命*				
コスト概算 イニシャルコスト費目例： 土木費、建設費、設備費用等 ランニングコスト費目例： 排水処理薬品、消耗品、汚泥・廃棄物処理費、電力使用料等	費目	単価	数量	計
	イニシャルコスト			
	ランニングコスト(月間)			
	円 / 処理水量 1m ³			

3. 運転及び維持管理に必要な管理項目と管理時間・頻度

管理項目 「排水処理薬品の補充」 「汚泥・廃棄物処理」 「定期点検」等を記入	一回あたりの 管理時間	管理頻度 月・週・日のいずれかに 括弧内に回数を記入
	()分	(月・週・日)に ()回
	()分	(月・週・日)に ()回
	()分	(月・週・日)に ()回
	()分	(月・週・日)に ()回
	()分	(月・週・日)に ()回
	()分	(月・週・日)に ()回

4. 開発状況・納入実績

もっとも近い番号に をつけてください。

1. 試作機は作成可能だが、製品化にはいたっていない。
2. 既に製品化しており、製品として出荷できる。
3. 納入実績がある。



具体的に

5. 技術の先進性について

技術の先進性、特許・実用新案等の申請・取得状況、論文発表、受賞歴等を記入してください。

6. 希望する実証試験実施場所

7. その他（特記すべき事項）

【本申請書に添付する書類】

技術・製品の技術仕様書

運転及び維持管理マニュアル

ただし運転及び維持管理マニュアルとは、以下の情報を含むものとする：

- 実証対象機器の設置・立ち上げ
- 運転及び維持管理
- 緊急停止後の運転再開
- 構成部品の校正と交換
- トラブルシューティング
- 予備部品
- 運転と環境の最適化
- 条件変化に対する耐久性